

第114回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和8年度第9回薬事審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会	資料1-2-5
2026（令和8）年10月23日	

新型コロナワクチン接種後の死亡として報告された事例の概要

ダイクロナ筋注

1. 報告状況

- 10月23日審議会 集計期間：令和8年4月1日～令和8年6月30日

	接種可能のべ人数（回分） ^{注1}	報告件数	100万回あたりの報告件数
		（報告頻度）	
令和8年1月1日～ 令和8年3月31日	－	0 －	－
令和8年4月1日～ 令和8年6月30日	－	1 －	－
（参考） 令和6年4月1日～ 令和8年6月30日	575, 832	11 (0.00191%)	19.10件

注1：医療機関への納入数量を接種可能のべ人数（回分）として利用している。対象期間において、返品等が行われていることから接種可能のべ人数を算出できないため「－」としている。

2. 専門家の評価

- 令和8年6月30日までに報告された死亡事例を対象に、専門家の評価を実施（別紙1）。評価結果は、以下のとおり。

因果関係評価結果（公表記号）	件数（集計期間内）	参考：令和6年4月1日からの累計
α （安全対策措置を検討する根拠のひとつとして、 ワクチンと事象との関連性が合理的に示唆されるもの）	0件	0件
β （ワクチンと事象との関連性が認められないもの）	0件	0件
γ （ワクチン以外の要因や情報不足等により、 ワクチンと事象との関連性が不明確なもの）	1件	11件

【別紙 1】

ダイチロナ筋注に関する死亡報告一覧

報告対象期間内（令和8年4月1日から令和8年6月30日まで）の報告

No.	ワクチン名	ロット番号	年齢 (数)	年齢 (単位)	性別	基礎疾患等	接種日	死亡日	死因または転帰死亡PT	報告医評価	因果関係 評価	専門家の意見	死亡症例として 報告を受けた日付	合同部会報告日	合同部会評価日
1	ダイチロナ		69	歳	男性	メチレンテトラヒドロ葉酸 還元酵素多型 糖尿病 高血圧		不明	抗リン脂質抗体症候群	－	γ		2026年6月19日		2026年10月23日

※専門家の因果関係評価

α：「安全対策措置を検討する根拠のひとつとして、ワクチンと事象との関連性が合理的に示唆されるもの」

β：「ワクチンと事象との関連性が認められないもの」

γ：「ワクチン以外の要因や情報不足等により、ワクチンと事象との関連性が不明確なもの」

【別紙2】

製造販売業者から報告された新型コロナワクチン接種後の死亡疑い報告の症例概要

ダイチロナ筋注

症例 No.	症例経過
1	本症例では、COVID-19 ワクチンの製剤名を特定できていない。 詳細調査実施中 69 歳男性患者 原疾患・合併症：高血圧症、糖尿病、MTHFR 遺伝子多型。 日付不明 予防接種のため、COVID-19 ワクチンを接種した。 日付不明 COVID-19 ワクチン接種の 20 日後に突然意識障害が出現した。発見 15 分後と搬送時に心停止したが、心肺蘇生により心拍は速やかに再開。冠動脈に異常なく、検査後に左共同偏視を伴う右片麻痺が判明した。MRI で左中大脳動脈(MCA)灌流域の脳梗塞と広範囲に時相の異なる多発性塞栓性小梗塞あり。MRA で左 ICA・M1 起始部の閉塞あり。血液検査で炎症反応や D-dimer の上昇あり。抗核抗体が強陽性で、ループスアンチコアグラントと抗カルジオリピン IgM 抗体が高値。劇症型抗リン脂質抗体症候群様の病態が発現。 日付不明 入院後に右腹部圧痛と左下肢冷感が出現したが、エコーで腹部に異常なく、左膝窩動脈に浮動性血栓あり。 日付不明 第 6 病日に脳ヘルニアで死亡。劇症型抗リン脂質抗体症候群様の病態の転帰は死亡。剖検は実施された。剖検結果あり。 左 MCA 領域の出血性梗塞に著明な脳浮腫と頭蓋内圧亢進所見あり。椎骨動脈と脳底動脈以外の全ての主幹動脈に新鮮な赤色血栓が充満。著明な動脈硬化や壁内血栓はなく、穿通枝領域に虚血性変化は目立たない。心臓の虚血性変化や心腔内血栓もなく、病理学的にも塞栓源は不明。大脳白質には髄鞘の風船様拡大からなるびまん性微細空胞性変化があり、葉酸欠乏が示唆された。メチレンテトラヒドロ葉酸還元酵素(MTHFR)の遺伝子解析では 677CT/1298AC(ヘテロ変異型多型)。腸間膜動脈血栓症による腸間膜壊死もみられた。